

資料配布の場所：

筑波研究学園都市記者会(資料配布)

日時：令和5年11月21日(16:00)

※本件については国土交通省においても同種の内容を発表



令和5年11月21日

国立研究開発法人土木研究所

国土交通省中小企業イノベーション創出推進事業(SBIR フェーズ3 基金事業) に係る補助対象事業の採択結果について

～スタートアップ等の先端技術を活用し都市デジタルツインの取組みを推進～

「中小企業イノベーション創出推進事業」^{※1)}の「災害に屈しない国土づくり、広域的・戦略的なインフラマネジメントに向けた技術の開発・実証」分野に関し、事業実施主体である国土交通省及び補助事業のための基金設置法人である一般社団法人低炭素投資促進機構(GIO)は令和5年8月31日～10月16日の期間で補助事業者の公募を実施しました。

この度、事業分野のうちテーマ③「都市デジタルツインの技術開発・実証」の応募内容につきまして、外部有識者等から構成される採択審査委員会における審議を踏まえ、以下のとおり3件の採択が決定されました。

国立研究開発法人土木研究所は当該分野において基金設置法人の業務を支援する運営支援法人に選定されており、今後、スタートアップ等の有する先端技術の社会実装の促進と支援に取り組んでまいります。

※1) SBIR 制度(Small/Startup Business Innovation Research)において、革新的な研究開発を行うスタートアップ等が社会実装に繋げるための大規模技術実証(フェーズ3)を実施し、我が国におけるスタートアップ等の有する先端技術の社会実装の促進を図ることを目的とした事業。

テーマ③「都市デジタルツインの技術開発・実証」採択結果概要

応募件数：3件

採択件数：3件

審査方法：外部有識者等から構成される採択審査委員会における審査を実施。

代表スタートアップ	株式会社 リアルグローブ
事業計画名	3D 都市モデル自動作成・自動更新システムの開発及び実証
事業期間	～令和9年度末
交付上限額	8.50億円

代表スタートアップ	株式会社 スペースデータ
事業計画名	AI 技術を活用した高精度デジタルツインの構築
事業期間	～令和9年末
交付上限額	7.00億円

代表スタートアップ	株式会社 ユーカリヤ
事業計画名	3D 都市モデルに対応した次世代 WebGIS エンジンの開発と社会実装
事業期間	～令和9年度末
交付上限額	18.25億円

問い合わせ先

国立研究開発法人 土木研究所
企画部 大谷、技術推進本部 正木、中西
電話 029-879-6800(直通)
mail:sbir-support@pwri.go.jp